

地域包括ケア推進会議における主な議論 (地域での対応方針・市レベルの課題)

平成28年度 第1回 松戸市地域ケア会議
平成28年7月20日

地域包括ケア推進会議における主な議論の整理①

- 平成28年1月～5月の間、地域包括ケア推進会議は合計16回開催され、医療・介護・福祉・地域関係者等のほか、テーマに応じて、ボランティア・警察・消防・小学校・保健福祉センター等が参加して、地域課題の解決に向けて議論が行われた。
- 推進会議では、課題解決に向けて、地域での対応方針を決定する。地域で解決できない課題がある場合には、そうした課題を抽出した上で、市レベルの課題につなげる。

テーマ	(1) 課題	(2) 関係する個別事例	(3) 地域での対応方針	(4) 市レベルの課題	(5) 地区
1. 認知症の理解促進	○地域住民が、認知症についての知識がなく、どう接してよいか分からない。世代を超えた認知症に対する普及啓発が必要。 ○市の認知症施策の内容や利用方法が知られていない。	○認知症高齢者が徘徊を繰り返してしまう。 ○認知症の親を虐待するケース、認知症高齢者の家族である子どもにも影響が生じるケースなどがある。	○地域住民に対して認知症サポーター養成講座の受講を勧める【矢切】 ○地域包括支援センターで周知を行う【矢切】	○様々な世代や職種において、認知症の理解を促進する。 ○住民による認知症見守りの仕組みの充実を図る。	矢切 馬橋西
2. 認知症に関する情報把握	○町会で見守れるのが理想的だが、町会未加入者の見守りが難しい。	○家族が通いで介護し、見守るが、徘徊を繰り返してしまう。	○家族に個人情報伝えてよいか確認した上で、民生委員に情報提供し、家族と会う機会を作り、見守りを依頼【矢切】	—	矢切
3. 認知症高齢者の徘徊対応	○認知症高齢者の徘徊対応が十分に行われていない。	—	○認知症ガイドブック等を活用して、認知症に対する理解を促進する【小金】	—	小金
4. 在宅ケアに関する啓発	○在宅ケア（医療・介護）に対する期待が大きい一方で、不安も大きい。	—	—	○在宅ケア（医療・介護）を安心して受けられるような情報提供や啓発活動が必要。	常盤平

地域包括ケア推進会議における主な議論の整理②

テーマ	(1) 課題	(2) 関係する個別事例	(3) 地域での対応方針	(4) 市レベルの課題	(5) 地区
5. 生活支援	○食事・掃除・交通手段等の生活手段を支援する住民主体の多様なサービスを準備することが必要。	—	○地域における生活支援（ゴミだし、布団干し、話し相手等）のニーズと、その支え手を調べるためのアンケートを検討する【明第2西】	—	明第2西
6. 社会資源の把握・開発	○地域の社会資源をまとめた資料が少ない。 ○介護保険のデイサービスでは満たされない自立度の高い高齢者が参加できる場が欲しい。	○他者との関わりの薄い独居高齢者が地域から孤立する恐れがある。	○地域包括ケア推進会議の場を利用して、社会資源マップを作成【明第1】	○地域包括支援センターにおける社会資源の把握・開発を推進することが必要。	明第1東部馬橋
7. 就労支援	○定年後の高齢者の活躍の場や生きがいの場が少ない。	○団塊の世代に力を借りようと声かけなどを行ったが、比較的若い年代は仕事を続けている。	—	○定年後の高齢者の活躍の場や生きがいづくりの場を作っていくため、高齢者の就労支援を推進することが必要。	馬橋西
8. 外出支援	○車いす等福祉用具の利用が必要な方が気兼ねなく安全・安心な外出ができない状況がある。	○歩行困難な高齢者が、車いす等を使って外出しているが、通行人の配慮の無さや周辺状況によって、安心・安全な外出ができない。	○住民自身でも排水溝の清掃等を行う。 ○交通ルールを守る。 ○車いすの操作等、安全に行えるよう技術向上に努める。 ○地域活動の中でも、バリアフリーについて周知・共有する。 【六実六高台】	○高齢者の社会参加を推進するため、移動困難な高齢者の外出支援の環境を整備する。	六実六高台

地域包括ケア推進会議における主な議論の整理③

テーマ	(1) 課題	(2) 関係する個別事例	(3) 地域での対応方針	(4) 市レベルの課題	(5) 地区
9. 災害時の地域での支援	○災害時の支援に当たって、独居、高齢者のみ世帯、日中独居の方を地域で十分に把握できていない。	—	○地域を地域でケアする必要があり、町会の班ごとの小さな単位で、どこにどんな人が住んでいるかの情報を把握する。【小金】	—	小金
10. 災害時の要介護者等への対応	○災害発生時に、要介護高齢者等に対して、適切な支援を行う体制を構築することが必要。	—	—	○要介護高齢者等を受け入れる福祉避難所が、実際の被災状況を想定した動きができるようにすることが必要。	馬橋
11. 緊急時対応	○緊急時の連絡先や情報が不足していることがある。	—	○松戸市高齢者安心カードの利用を推進する【小金】	—	小金
12. 地域包括支援センターのPR	○支援が必要な者が地域包括支援センターを知らないために、適切な支援につながらない。	○支援を要するケースなのに、包括センターを知らず、相談に至らなかった。 ○元気高齢者は、包括センターを知らないことが多い。	○包括連絡カードの作成・配布、出張相談室、回覧板にチラシを入れてもらうなどの周知策を講じる【明第2東】	○高齢者等がよく目にする媒体を活用した周知を推進することが必要。	明第2東 小金 馬橋西

※参考：松戸市高齢者安心カード

財布等にしまうことにより、救急搬送時などの緊急時に、円滑に個人情報を把握できる

(表面)



(裏面)

フリガナ 氏名	男・女
生年月日(明・大・昭)	年 月 日 血液型 型 ±
住所 (松戸市)	
緊急連絡先 (※親族) 氏名	☎
かかりつけ医	☎
高齢者いきいき安心センター ☎047-	

別添

各地域包括ケア推進会議における 参加者・議題・議論

1. 明第1地区推進会議（平成28年1月28日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者									議題
1月28日 (木) 13:30~ 15:30	町会	○	2	医師	○	1	ケアマネ	○	4	1. 地域資源マッピング作業
	地区社協	○	2	歯科医師			介護事業者	○	2	
	市社協	○	1	薬剤師	○	1				
	民生委員	○	2	看護師						
	ボランティア			保健師	○	1				
	高支連			医療相談員			地域包括	○	3	
				社会福祉士			市役所	○	1	
				警察						
				消防						
							合計	20人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地域の社会資源をまとめた資料が少ない。			推進会議を利用して社会資源マップを作製した。(現在編集中)	

2. 明第1地区推進会議（平成28年5月26日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者									議題
5月26日 (木) 14:00~ 15:40	町会	○	2	医師	○	1	ケアマネ	○	8	1. 地域資源マッピング作業
	地区社協	○	2	歯科医師	○	1	介護事業者	○	4	
	市社協	○	1	薬剤師	○	1				
	民生委員	○	2	看護師	○	2				
	ボランティア			保健師	○	1				
	高支連			医療相談員	○	1	地域包括	○	3	
				社会福祉士			市役所	○	1	
				警察						
				消防						
								合計		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	消費者被害に過去に遭ったことがある高齢者がいる。 (自ら訴える方は少ない)	事前アンケートを通じて、消費者被害に遭った事例が把握された。			
イ	地域の社会資源をまとめた資料が少ない。			推進会議を利用して社会資源マップを作製した。(現在編集中)	

3. 明第2東地区推進会議（平成28年1月20日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者										議題
1月20日 (水) 17:30~ 19:00	町会	○	8	医師	○	1	ケアマネ	○	2	1. 地域包括支援センター・地域ケア会議について 2. 地域包括支援センターより「地域包括支援センター及び地域ケア会議について」説明を行ない、初めて参加頂いたメンバーの理解を促進。	
	地区社協	○	1	歯科医師	○	1	介護事業者	○	1		
	市社協	○	1	薬剤師							
	民生委員	○	2	看護師							
	ボランティア			保健師							
	高支連			医療相談員			地域包括	○	4		
				社会福祉士			市役所	○	1		
				警察	○	2	健康推進課 1				
			消防			合計		25人			

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地域ケア会議構成員について	—	○	個別ケア会議構成員は現行のままとし、推進会議の構成員について幅広い方面に参加を呼びかけていく。まず、町会長・警察への参加を呼びかける。	
イ	地域包括支援センターの認知度UPについて	認知症高齢者の家族支援という観点から支援を要するケースなのに、包括センターを知らず、相談に至らなかった。	○	地域、特に町会に協力していただき、出来ることから行なう。(包括連絡カードの作成・配布、出張相談室、回覧板にチラシを入れてもらう、介護事業所との交流など)	市役所待合所のテレビでPR、市広報の更なる活用、いろいろな介護事業所に対してもっとPRする。

4. 明第2西地区推進会議（平成28年1月13日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者										議題
1月13日 (水) 19:00~ 20:30	町会			医師	○	1	ケアマネ	○	2	地域アンケートによる実態調査について 1. 高齢者の生活支援ニーズの内容と必要量を調べる 2. 生活支援ボランティアをする側の提供可能な内容と量を調べる 「対象について」「質問事項について」「配布と回収の手段について」「回収率UPの工夫」「アンケートをどう生かすか?について」「その他」それぞれについて討議する。	
	地区社協	○	1	歯科医師	○	1	介護事業者	○	5		
	市社協			薬剤師	○	1					
	民生委員	○	1	看護師							
	ボランティア			保健師							
	高支連	○	1	医療相談員			地域包括	○	4		
				社会福祉士			市役所	○	1		
				警察			歯科衛生士1 健康推進課1				
			消防			合計		20人			

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	明第2西地区は高齢化率が25.4%（松戸市全体は23.5%）と高く高齢者のみ世帯も増加している。食事・掃除・交通手段等の生活手段を支援する住民主体の多様なサービスを準備する必要がある。		○	地域で、どのような、ちょっとした生活上の手伝い（ゴミ出しや布団干し、話し相手など）をどれ位の人が必要としているのか？また、それを行える支援者はどれ位いるのかを調べるためにアンケートを検討してみる。	介護予防日常生活支援総合事業における協議体・生活支援コーディネーターの実行力に期待する。

5. 矢切地区推進会議（平成28年4月15日開催）

（1）参加者・議題

日時	参加者										議題
4月15日 （金） 19：00～ 20：30	町会	○	1	医師	○	1	ケアマネ	○	2	1. オレンジ協力員の紹介 2. 事例紹介 3. 松戸市地域ケア会議 報告 4. H27年度の2事例を通じて意見交換 5. H27年度 活動報告	
	地区社協	○	1	歯科医師	○	1	介護事業者	○	8		
	市社協			薬剤師	○	1					
	民生委員	○	1	看護師							
	ボランティア			保健師	○	1					
	高支連			医療相談員			地域包括	○	5		
	オレンジ協力員	○	1	社会福祉士			市役所	○	2		
				警察							
				消防							
							合計		25人		

（2）議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 <small>（①に関係する個別事例がある場合に記入）</small>	③地域での 解決の是非 <small>（○・×）</small>	④地域での対応方針 <small>（③が○の場合に記入）</small>	⑤市レベルで期待すること <small>（任意記入）</small>
ア	町会で見守れるのが理想的だが、町会未加入者が難しい。	家族が通いで介護し、見守るが、徘徊を繰り返してしまう。		家族に個人情報伝えていか確認し民生委員に情報提供、家族と会う機会を作り、見守りを依頼。	
イ	市の認知症高齢者対策の制度や利用の仕方が知られていない。	同上		包括でも周知活動をする。	
ウ	認知症についての知識がない、どう接していいかわからない。	昼、夜構わず頻回にコンビニ、スーパーで同じものを買ってくる。迷子になるのではと心配。		地域住民に対して認知症サポーター養成講座開催を勧める。	

6. 東部地区推進会議（平成28年3月25日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者										議題
3月25日 (金) 13:30~ 14:30	町会			医師			ケアマネ				1. 東部地域包括支援センターの活動報告 2. 地域個別ケア会議の報告 3. 介護予防について「いきいきトレーニング」の紹介、「認知症予防教室」開催の報告
	地区社協			歯科医師			介護事業者				
	市社協			薬剤師							
	民生委員			看護師							
	ボランティア			保健師							
	高支連	○	9	医療相談員			地域包括	○	3		
				社会福祉士			市役所	○	1		
				警察							
				消防							
						合計		13人			

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	介護保険のデイサービスでは満たされない自立度の高い高齢者が参加できる場がほしい。	他者との関わりのうすい独居高齢者が地域から孤立する恐れがある。	×		

7. 常盤平地区推進会議（平成28年2月18日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者								議題		
2月18日 (木) 13:30~ 15:30	町会	○	10	医師	○	2	ケアマネ	○	12	1. これからの在宅医療について(講演) 2. 在宅医療介護連携事例検討 (事例について様々な立場でグループで話し合う) 3. 高齢者支援課からの報告	
	地区社協	○	3	歯科医師			介護事業者	○	4		
	市社協	○	1	薬剤師							
	民生委員	○	9	看護師	○	4					
	ボランティア				保健師	○	1				
	高支連	○	6	医療相談員	○	3	地域包括	○	7		
				社会福祉士	○	1	市役所	○	2		
				警察			NPO 1、その他 5				
				消防							
							合計		71人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	在宅医療、介護における不安の軽減のための啓発活動が必要		×		在宅医療や介護を安心して受けられるような情報提供や啓発活動が必要
イ	在宅医療や介護に対する成功事例の積み上げが必要		×		在宅医療や介護を安心して受けられるような情報提供や啓発活動が必要

8. 五香松飛台地区推進会議（平成28年3月10日開催）

（1）参加者・議題

日時	参加者										議題
3月10日 （木） 10：00～ 12：00	町会	○	1	医師			ケアマネ	○	1	1. 今年度個別ケア会議総括 2. 次年度の予定 3. 次年度の課題	
	地区社協	○	1	歯科医師			介護事業者	○	3		
	市社協	○	1	薬剤師	○	1					
	民生委員	○	3	看護師							
	ボランティア			保健師	○	1					
	高支連	○	1	医療相談員			地域包括	○	5		
				社会福祉士			市役所	○	1		
				警察							
				消防							
								合計			19人

（2）議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 <small>（①に関係する個別事例がある場合に記入）</small>	③地域での 解決の是非 <small>（○・×）</small>	④地域での対応方針 <small>（③が○の場合に記入）</small>	⑤市レベルで期待すること <small>（任意記入）</small>
ア					

9. 五香松飛台地区推進会議（平成28年5月19日開催）

（1）参加者・議題

日時	参加者										議題
5月19日 （木） 10：00～ 12：00	町会	○	3	医師			ケアマネ	○	1	1. 今年度個別ケア会議総括 2. 次年度の予定 3. 次年度の課題	
	地区社協			歯科医師			介護事業者	○	3		
	市社協	○	1	薬剤師	○	1					
	民生委員	○	1	看護師							
	ボランティア			保健師	○	1					
	高支連	○	1	医療相談員			地域包括	○	4		
				社会福祉士			市役所	○	2		
				警察			小学校長 1				
				消防			病院事務長 1				
								合計			20人

（2）議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 <small>（①に関係する個別事例がある場合に記入）</small>	③地域での 解決の是非 <small>（○・×）</small>	④地域での対応方針 <small>（③が○の場合に記入）</small>	⑤市レベルで期待すること <small>（任意記入）</small>
ア					

10. 六実六高台地区推進会議（平成28年4月13日開催）①

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題			
4月13日 (水) 13:30~ 15:30	町会	○	1	医師			ケアマネ	○	5	1. 参加委員の自己紹介 2. 平成27年度 六実六高台地域包括支援センターの活動報告 3. 平成27年度個別地域ケア会議の報告 4. 松戸市地域ケア会議の報告 5. 課題検討・個別ケア会議で挙げられた課題について（検討） 6. 次回以降の地域ケア会議について 7. その他 ・地域活動「地域で楽しく過ごそう会」の紹介 ・松戸市役所より5月に開催予定の「認知症予防講演会」の案内
	地区社協			歯科医師	○	1	介護事業者	○	5	
	市社協			薬剤師	○	1	(介護保険施設)	○	3	
	民生委員	○	1	看護師			(認知症デイ)	○	1	
	ボランティア			保健師	○	1	(訪問介護)	○	1	
	高支連	○	1	医療相談員			地域包括	○	2	
	老人クラブ	○	1	社会福祉士			市役所	○	1	
				警察						
				消防						
							合計		20人	

10. 六実六高台地区推進会議（平成28年4月13日開催）②

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	道路の状況や周囲の無理解が原因で屋外での移動時に車いす等福祉用具の利用が必要な方が気兼ねなく安全・安心な外出が出来ない状況がある。	独居の歩行困難な高齢者。外出時は車いすを使用。車いすで一人で電車に乗り他市へ外出することを試みたが、他人の手を煩わせたと感じたこと、道行く人の配慮の無さ（スマホのながら歩き等）に危険を感じたこともあり、独りでの遠出を諦めている。近隣の郵便局や銀行へ出向く際も道路の段差や坂道、車や自転車の動きに戸惑い外出に恐怖を感じ、閉じこもりがちな生活になっている。	一部 ○	<ul style="list-style-type: none"> ・（雨後、大きな水たまりが出来通行不可能になる個所について）住民自身でも排水溝の清掃等を行う。 ・危険と思われる点について、声を上げていく。 ・交通ルールを守る。 ・車いすの操作等、安全に行えるよう技術向上に努める。 ・地域活動の中でも、バリアフリーについて周知・共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら通りの桜の根の凹凸の解消、段差や電柱等、高齢者や障害者が安全に通行できるよう歩道の整備をお願いしたい。 ・横断歩道を、実際の人の流れに合わせた形で配置してほしい。 ・警察官等に交通ルールを街頭で指導してもらいたい。 ・交通渋滞の緩和対策。 ・市広報等でのPR。 (歩きスマホ等の禁止、高齢者身障者等への配慮等)
イ	駅や病院までの交通手段がない。		×		駅や主要な病院までの交通手段として乗り合いタクシーなどの導入を検討してほしい。

11. 小金地区推進会議（平成28年1月14日開催）①

(1) 参加者・議題

日時	参加者								議題
1月14日 (木) 10:00~ 11:00	町会	○	1	医師			ケアマネ		1. 個別会議報告 2. 各委員より、現場の課題 (1人暮らし・高齢者のみ・日中独居) 3. 問題解決の提案 4. その他事務局より
	地区社協	○	1	歯科医師	○	1	介護事業者		
	市社協			薬剤師					
	民生委員	○	5	看護師					
	ボランティア			保健師					
	高支連	○	2	医療相談員			地域包括	○ 2	
				社会福祉士			市役所	○ 2	
				警察			※重複2名		
			消防	○	2				
							合計	16人	

(2) 議論のまとめ①

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	1人暮らし、高齢者のみ、 日中独居の方の把握が十分に できていない			町会によっては把握できて いる町会もあり、班ごとなど 小さな単位でお互いの見 守りをしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供ができるための 体制整備を進めていく。 ・個人情報の取り扱いにつ いて検討する必要がある。
イ	緊急時の連絡先や情報が不 足していることがある。			<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんカードの活用、 その情報更新の必要性を 町会長や回覧板などを通 して伝えていく。 ・知り合いが始めることで、 自分もという流れができる ように働きかける。 	

11. 小金地区推進会議（平成28年1月14日開催）②

（2）議論のまとめ②

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ウ	地域包括支援センターの周知が十分にできていない。			総合相談窓口である地域包括支援センターを住民に伝える。	病院や薬局に包括のチラシを設置させて頂く。
エ	認知症徘徊者への対応が十分ではない。	第4回地域ケア個別会議		声かけ方法などについて勉強をする。	声かけマニュアルの作成をする

12. 小金地区推進会議（平成28年5月13日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者										議題
5月13日 (木) 10:00~ 11:30	町会	○	1	医師			ケアマネ				1. 個別ケア会議報告 2. 今後の地域包括ケアに対して現状と今後の展開 3. 前回議事内容の進捗報告 4. 緊急時の対応・震災等の支援体制
	地区社協	○	1	歯科医師	○	1	介護事業者				
	市社協			薬剤師							
	民生委員	○	5	看護師							
	ボランティア			保健師							
	高支連	○	2	医療相談員			地域包括	○	2		
				社会福祉士			市役所	○	4		
				警察			保健福祉センター1				
			消防	○	1						
							合計		18人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	自然災害時、地域における支援体制		○	地域を地域でケアする必要性があり、どこに、だれが、どんな人が住んでいるかの情報を地域で把握する。	防災ハンドブックなど、災害時の対応マニュアルなど各家庭にあると事前備えができる。
イ	緊急時の連絡先や情報が不足していることがある。		○	松戸市高齢者安心カードの利用を推進する。	
ウ	地域包括支援センターの周知が十分にできていない。		○	総合相談窓口である地域包括支援センターを住民に伝える。	病院や薬局に包括のチラシを設置させて頂く。
エ	徘徊をしている認知症への対応が十分ではない。		○	認知症ガイドブック等を活用して、認知症に対する理解の推進をする。	

13. 小金原地区推進会議（平成28年2月23日開催）①

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題			
2月23日 (火) 13:30~ 15:00	町会	○	2	医師	○	2	ケアマネ	○	4	1. 地域包括ケアシステムについての講演 2. 小金原地域包括支援センターからの報告 3. グループワーク：『自分たちにできる地域活動をするために』日頃感じている問題を話し合う
	地区社協	○	2	歯科医師	○	1	介護事業者	○	2	
	市社協			薬剤師	○	1				
	民生委員	○	3	看護師						
	ボランティア			保健師	○	1				
	高支連	○	2	医療相談員	○	1	地域包括			
	老人クラブ	○	1	社会福祉士			市役所	○	2	
				警察	○	1	認知症疾患医療センター1、認知症コーディネーター2、金融機関1			
				消防						
						合計		29人		

(2) 議論のまとめ①

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	《民生・相談協力員グループ》 孤立・疎遠、独居、ゴミ出し・荷物の上げ下ろし、認知症（徘徊）、虐待		○	①問題の共有 ②取り上げる問題を抽出 ③問題解決のための目標設定	地域住民のたすけあいネットワーク構築への支援 地域活動におけるリーダーの育成
イ	《医療グループ》 認知症（徘徊）、受診拒否、孤独死のリスク、家族の介護負担、家族に精神の疾患がある、かかりつけ医不在、入院でADL低下、口腔ケア(管理困難・理解不足)、災害時の対策		○	④目標達成のための活動計画立案 ⑤活動開始 ⑥モニタリング	

13. 小金原地区推進会議（平成28年2月23日開催）②

(2) 議論のまとめ②

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ウ	《施設グループ》 集える場所がない、巡回バスがない、サービスの連携がすすみにくい、施設の連携がない、各種機関や相談先が解らないため相談できない、地域活動に参加していなかったりできなくなっている人がいる、地域住民との関わりが少なく埋もれている人がいる		○		
エ	《ケアマネグループ》 ご近所付き合いが少ない高齢者が多い、サロンに行けない、歩けるところにサロンがない、ちょっとした相談をするところがない、緊急時の対応		○	①問題の共有 ②取り上げる問題を抽出 ③問題解決のための目標設定 ④目標達成のための活動計画立案 ⑤活動開始 ⑥モニタリング	地域住民のたすけあいネットワーク構築への支援 地域活動におけるリーダーの育成
オ	《町会グループ》 日頃の付き合いがないため近所に情報が伝えられない、支援を求めることを嫌う人がいる、町会に入らない住民が多い		○		

14. 馬橋西地区推進会議（平成28年1月22日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題			
1月22日 (金) 19:00~ 21:00	町会			医師	○	1	ケアマネ			1. H28年度馬橋西地区包括支援センター活動報告 2. 個別ケア会議の振り返り 3. 地域課題について 4. その他
	地区社協	○	2	歯科医師			介護事業者	○	1	
	市社協	○	1	薬剤師	○	1				
	民生委員	○	3	看護師	○	1				
	ボランティア			保健師	○	1				
	高支連			医療相談員			地域包括	○	3	
				社会福祉士			市役所	○	1	
				警察						
				消防						
							合計		15人	

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	認知症や精神疾患の正しい知識を多くの人に知ってもらうにはどうしたらよいか。	認知症の本人だけの問題ではなく、家族を含めた相談が増えている。認知症の親を虐待するケース、認知症高齢者の家族である子どもにも影響が生じるケースなどがある。	○	複雑化する相談や相談件数の増加に対応する為の、施策などが必要。	医師会主催の「まちっこプロジェクト」や市役所主催の講演会等で、広く市民の方々へ周知参加を促す。
イ	地域とのつながりを強化していくにはどのようにしたらよいか。	元気で病気などに縁遠い方や、町会・自治会長などで包括の存在を知らない方が多い。	○	包括支援センターの存在などを地域に広める活動ならびに地域に即した資源マップ等を作成していく。	個人情報保護の関係で、情報が取りにくい。情報の共有がもっとできる環境でありたい。
ウ	定年後の男性の活躍の場や生きがいの場が少ない。			社協等で団塊の世代に力を借りようと声かけなどをおこなったが、比較的若い年代はボランティアではなく仕事を続けている。	誰でも気軽に閲覧ができるインフォーマルサービスなどを一覧表示出来るサイトがあると良い。

15. 馬橋西地区推進会議（平成28年5月27日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題			
5月27日 (金) 19:00~ 20:30	町会			医師	○	1	ケアマネ			1. 新松戸地域包括支援センター活動報告 2. 個別ケア会議の振り返り 3. 地域課題について 4. その他
	地区社協	○	3	歯科医師			介護事業者			
	市社協	○	1	薬剤師	○	1				
	民生委員	○	3	看護師	○	1				
	ボランティア			保健師	○	1				
	高支連			医療相談員			地域包括	○	4	
				社会福祉士			市役所	○	2	
				警察						
				消防						
						合計		17人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	町内会未加入の方への対応	生活保護受給世帯が多い。	○	回覧板を使用して情報共有を図っていく。	
イ	増加する外国人への対応				言語別パンフレットの充実
ウ	増加する認知症の方への対応		○	・地域での見守り活動 ・各世代を超えて、認知症に対する普及啓発が必要。	オレンジ協力員・認知症サポーターの養成

16. 馬橋地区推進会議（平成28年3月3日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者										議題
3月3日 (木) 9:30~ 11:00	町会			医師	○	1	ケアマネ	○	1	1. 地域密着型施設 NPO法人 見守り活動事業者の現状報告 2. ハケ崎移送ボランティアのアンケート結果を踏まえて地域に必要なインフォーマルサービスについて 3. ゴミ屋敷が増えていることに対して 4. 防災対策について	
	地区社協	○	1	歯科医師	○	1	介護事業者	○	8		
	市社協			薬剤師	○	1	(地域密着)	○	6		
	民生委員	○	1	看護師	○	1	(通所)	○	1		
	ボランティア			保健師	○	1	(訪問介護)	○	1		
	高支連			医療相談員			地域包括	○	3		
	みんなんち	○	1	社会福祉士			市役所	○	1		
	暮らしの助っ人	○	1	警察							
				消防							
						合計		22人			

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地域に必要なインフォーマルサービスをどうしていくか	独居高齢者の買い物依存、金銭管理についてインフォーマルサービスでできること	×	②に関して…本人の努力。請求を年金支払日にしてもらい、生活に必要なお金は封筒に入れて手を付けない約束をするなど。	
イ	ゴミ屋敷について		×	(有償無償どちらも) ボランティアで受けると会員がいなくなってしまうので無理。利用者も大事だが会員も大事。	市である程度整理して入れるようにしてからの依頼にしてほしい
ウ	防災時の対応について			少しずつだが備蓄や貯水施設などが進んでいるが、備蓄場所が無くまだまだ対応には不十分。災害時は施設も被災者であることも考慮してほしい。	3.11の経験を生かした福祉施設防災マニュアルなどを作してほしい

(参考) 参加者に対して地域課題や具体策等を事前にアンケート調査

している事例 (明第2東地区)

H28年 月 日 (明第2東地区ケア会議) (所属:) (氏名:)

当地区の課題だと思うものに を入れてください。(今回の事例に限定したものでなく結構です)

生活に関すること	<input checked="" type="checkbox"/>	課題	具体策
(1) 地域の見守り	<input checked="" type="checkbox"/>		
①住民の見守り意識の向上	<input type="checkbox"/>		
②見守り組織間の連携	<input type="checkbox"/>		
③	<input type="checkbox"/>		
(2) 家事・生活支援サービス	<input type="checkbox"/>		
①助け合い・ボランティア育成	<input type="checkbox"/>	(介護保険サービス以外のもの)	
②	<input type="checkbox"/>		
(3) 交流の場の拡充・創設	<input type="checkbox"/>		
①町会サロンの拡充	<input type="checkbox"/>		
②男性向けサロン	<input type="checkbox"/>		
③多世代間交流の場	<input type="checkbox"/>		
④転入高齢者の交流の場	<input type="checkbox"/>		
⑤生きがい・趣味の創出の場	<input type="checkbox"/>		
⑥	<input type="checkbox"/>		
(4) 移動困難高齢者(交通手段)	<input type="checkbox"/>		
①助け合い・ボランティア育成	<input type="checkbox"/>		
②公的サービスの拡充	<input type="checkbox"/>		
③	<input type="checkbox"/>		
医療・介護に関すること	<input checked="" type="checkbox"/>	課題	具体策
(5) 家族介護者の負担軽減策	<input checked="" type="checkbox"/>		
①介護技術の学びの場	<input type="checkbox"/>		
②息抜き場・相談相手	<input type="checkbox"/>		
③ちよっとした手伝い	<input type="checkbox"/>		
④	<input type="checkbox"/>		
(6) 介護予防推進	<input type="checkbox"/>		
①住民主体の体操教室拡充	<input type="checkbox"/>		
②健康診断受診促進	<input type="checkbox"/>		
③	<input type="checkbox"/>		
(7) 認知症への理解	<input type="checkbox"/>		
①認知症サポーター養成	<input type="checkbox"/>		
②商店等への理解促進・協力	<input type="checkbox"/>		
③	<input type="checkbox"/>		
相談窓口に関すること	<input checked="" type="checkbox"/>	課題	具体策
(8) 地域包括支援センター業務内容の広報	<input checked="" type="checkbox"/>		
①高齢者虐待防止	<input type="checkbox"/>		
②成年後見申立て支援	<input type="checkbox"/>		
③消費者被害の防止	<input type="checkbox"/>		
④	<input type="checkbox"/>		
(9) 相談窓口の不足	<input type="checkbox"/>		
①専門的医療に関する相談窓口	<input type="checkbox"/>		
②障害福祉サービスの相談窓口	<input type="checkbox"/>		
③	<input type="checkbox"/>		

自由記入欄・優先すべき事項等